中級統計学:定期試験

村澤 康友

2023年1月24日

注意:3問とも解答すること. 結果より思考過程を重視するので,途中計算等も必ず書くこと(部分点は大いに与えるが,結果のみの解答は0点とする). 教科書のみ参照してよい(他の講義資料・ノートは持込不可).

- 1. (20点) 以下で定義される統計学の専門用語をそれぞれ書きなさい.
 - (a) とりあえず真と想定する仮説
 - (b) OLS 問題の 1 階の条件を整理した式
 - (c) 推定量の標準偏差の推定値
 - (d) ある条件に該当するなら 1, 該当しないなら 0 とした変数
- 2. (30点)教育の収益率(修学年数が1年増えることによる年収の増加率)を推定したい. そこで無作為標本を用いて年収(対数値)を修学年数で説明する単回帰分析を行い,次の結果を得た.

$$\widehat{\mathrm{lincome}} = 4.38520 + 0.0651801 \, \mathrm{yeduc}$$
 $T = 4327$ $\bar{R}^2 = 0.0185$ $F(1,4325) = 82.559$ $\hat{\sigma} = 0.88683$ (丸括弧内は標準誤差)

- (a) 教育の収益率の OLS 推定値を単位も含めて正確に答えなさい.
- (b) 教育の収益率の t 値を求めなさい.
- (c) 教育の収益率の 95 %信頼区間を求めなさい (漸近分布で近似してよい).
- 3. (50 点) N (μ, σ^2) から抽出した大きさ n の無作為標本の標本平均を \bar{X} ,標本分散を s^2 とする. 次の両側検定問題を考える.

$$H_0: \mu = 0 \text{ vs } H_1: \mu \neq 0$$

有意水準を5%とする.

- (a) \bar{X} の分布を求めなさい.
- (b) t 検定統計量を与えなさい.
- (c) n=20 として t 検定の棄却域を定めなさい.
- (d) F 検定統計量 $F := n\bar{X}^2/s^2$ を用いてもよい. F は H_0 の下でどのような分布をもつか?
- (e) n=20 として F 検定の棄却域を定めなさい.

解答例

- 1. 統計学の基本用語
 - (a) 帰無仮説
 - (b) 正規方程式
 - (c) 標準誤差
 - (d) ダミー変数
- 2. 单回帰分析
 - (a) 6.51801%.
 - 0.0651801 は5点.
 - (b) $t = 0.0651801/0.00717354 \approx 9.086$.
 - (c) 教育の収益率を β , β の OLS 推定量を b, b の標準誤差を s とすると

$$\frac{b-\beta}{s} \stackrel{a}{\sim} N(0,1)$$

したがって

$$\Pr\left[-1.96 \le \frac{b-\beta}{s} \le 1.96\right] \approx .95$$

または

$$\Pr[-1.96s \le b - \beta \le 1.96s] \approx .95$$

または

$$\Pr[b - 1.96s \le \beta \le b + 1.96s] \approx .95$$

 $b=0.0651801,\ s=0.00717354$ より β の 95 %信頼区間は $[0.0511162,0.0792439],\$ すなわち [5.1%,7.9%].

- 3. 母平均の検定
 - (a)

$$\bar{X} \sim N\left(\mu, \frac{\sigma^2}{n}\right)$$

- 分散を s^2/n としたら 0 点.
- (b) t 検定統計量は

$$t := \frac{\bar{X}}{\sqrt{s^2/n}}$$

- $(\bar{X}-c)/\sqrt{s^2/n}$ は 5 点. $(\bar{X}-\mu)/\sqrt{s^2/n}$ や $\bar{X}/\sqrt{\sigma^2/n}$ は統計量でないので 0 点.
- (c) H_0 の下で $t \sim t(19)$ なので、t 分布表より

$$Pr[|t| > 2.093] = .05$$

したがって棄却域は $(-\infty, -2.093] \cup [2.093, \infty)$.

- t(19) で 2 点.
- (d) H_0 の下で $F = t^2 \sim F(1, 19)$.
- (e) F 分布表より

$$\Pr[F \ge 4.381] = .05$$

したがって棄却域は $[4.381, \infty)$.